

清潔の援助より学ぶ

中7階病棟 発表者 原 馨子

藤 沢 允子・古 畑 とり子・川 上 クニ・溝 上 ミツ
志 水 美恵子・滝 沢 順子・相 沢 明子・西 沢 三代子
村 田 和子

(研究期間 昭和55年 5月1日～7月10日)

1. はじめに

化学療法が急速に発達した今日では、結核の入院療養期間は短期になってきたと言われ、当院でも認められることである。その反面、入院患者の年齢層をみると老人が多く、さらに合併症をもっている人が増加している。この様な合併症患者増加の中でスタッフは従来の基本的な療養生活である①大気、②安静、③栄養だけでなく合併症に対応できなければならない。患者と疾患の変化に応え良い看護をしたいと考え実践の中で、スタッフは様々な問題を抱え始めていた。合併症を持つ患者や重症者に目が向けられ、他の患者に対して看護がおろそかになりがちとなり、どの様にスタッフは看護をすすめたかの一部を発表させていただきます。

2. 仮 説

ケアを通じ患者のサイドにいる時間を現在より増すことにより、患者のニーズが把握しやすくなるのではないか。

3. 看護の実際

スタッフは仮説証明の為に、患者の清潔に関するケアを行っていくことにした。また、実施にあたり患者清拭表を作成した。表参照

プロセスレコードをとり症例とする。

症例 ① A氏 ♂ 69才

病名 肺結核 気管支喘息

背景 最近付添いが居なくなったばかりで、自立がなかなかできず頻回にナースコールがあり、自立しようとする意欲も少ない。

Pt の 言 動	Ns の 言 動	考 察
はいやとくれ。 (顔、頸、胸をさっと拭く) できねえわい。指先に力が入ら ねえだよ。やとくれや。薬の 袋も切れねえだい。	Aさん今日清拭しましょうか。 じゃあ、自分でできるところま で拭いてみて下さい。 (タオルを渡す。熱いタオルと とりかえながら) Aさん、指先の方も拭きましょ うよ。 Aさん少しづつ練習して一人で できる様になってきましょうよ。	清潔というケアを通じて コミュニケーションをと り、この症例の場合は患 者に誤解があることがわ かった。また、清潔の機 会に薬袋を切る様な方向 づけのきっかけをつくり 働きかけた。

<p>(ネブライザーで吸入し始める) 退院したら自分でやるわい。</p> <p>お湯もっと熱くしてくれや。 さっぱりしたわい。</p> <p>いいわい。苦しくていけねえから。看護婦さん切っとくれや。</p> <p>付添がいたら、みんなやってくれるだに。</p> <p>そっちで付添をとめさせたずら。</p> <p>そうずらい。</p>	<p>(指先、下肢、臀部、背部 介助す)</p> <p>でも入院中から少しづつ練習しておいたら良いと思うけど。 (湯のとりかえをする。)</p> <p>今日のお昼の薬から袋切りの練習しましょうよ。</p> <p>やってみて苦しかったら手伝いますから練習だけはしてみましようよ。</p> <p>でも、お嫁さんにも都合があるんだから仕方ないね。それより自分でできる様になってきましょうよ。</p> <p>えっ、看護婦の方で付添をとめていると思っていたの。</p>	<p>その後一週間程で薬袋は自力で切って服用している。</p>
---	---	---------------------------------

症例 ② B氏 ♀ 71才

病名 肺結核 石灰化子宮筋腫

背景 老人性難聴ありて検温、検査説明などの時には、わかりましたと答える。

Pt の 言 動	Ns の 言 動	考 察
<p>ええ、お願いします。</p> <p>はい、と答える。(そのブルータオルで頸～肩を拭きなおしている)</p> <p>はっ? ええ。 (びっくりした表情がうかがわれる。)</p>	<p>Bさん、身体を拭きましょうか。背中はお手伝いしますから。 (大きな声で話しかける。背部介助する。ブルータオルを本人に示しながら)このタオルは、おしも用のタオルですからね。</p> <p>Bさん、このタオルはお尻を拭くのですから、とりかえましょうね。</p>	<p>難聴を考慮して話しかけたが、看護婦の把握している以上に難聴度が高い事が分った。この情報により各場面聞えているか確認していった。</p>

4. 仮説証明

重症者や合併症を多くもつ患者にのみ、看護業務が集中してしまった現状であった。しかし、AさんやBさん達のことをつうじ、順調に入院生活を送っている様にみえる患者と、1対1で親近感をもって接することが出来る清潔ケアを通し、患者の情報を得られ、患者のニーズの一部を把握出来たと思える。又、その新しい情報により、次の看護行為への足がかりができたと言える。又、清拭表作成

にあたっては、

- ① 介助の必要な患者を一覧にすることにより、把握しやすくする。
- ② 看護手順を合理化する。
- ③ 個別性のあるケアをする為。
- ④ 看護日誌に記載しない細かいことについての情報交換が出来る。

以上の様な目的をもって作成し実行した。又、②の目的により、手順を見直し無駄を省き、そのことにより他の患者へのケアの時間が出来た。清拭表作成までは、1週に1回程で施行できた人数も少なかったが、作成後は1週に2回は実施でき人数も多くなった。この様に清拭表作成は効果があったと評価できる。

5. おわりに

私達スタッフは、何回も現状についてカンファレンスをもち話し合った。最初は“スタッフの人数を増して欲しい。”“ヘルパーを1名欲しい。”等の意見が出たが検討を進めてゆくうちに、合併症をもつ患者がふえたという事もあるし、又マンネリ化する日常業務のなかで、その日その日の処置をこなすのに終始し、看護の独自性を見失ない、個々の患者のニードは何かをつかめていない事に気づいた。結核は最低でも2～3ヶ月の療養期間が必要であり、その間に種々の不満もでてくるだろうが、いかに患者と看護婦の良い関係を維持するかが大切である。それには表面的な言葉のやりとりではなく、患者も看護婦も本音の言える人間関係をつくらなければならないし、つねに患者のニードはなにかということ把握していかなければよい看護は出来ない。いままでをふり返ってみると、

- 個々の患者の全体を見通した看護計画がきちんとたてられていない。
- 患者の背景を十分に理解していない。
- スタッフ間でカンファレンスをなかなかもてなかった。

などの看護の原点とも言えるものが、できていないところに問題があるといえる。この実践を通じ、看護とはなにか、という事をふり返る事ができ、又これらの気持や姿勢をいつまでも持続させていかなければならないと思う。

参考文献

- 臨床看護 へるす出版 1978年12月 老人患者の褥創の看護と管理
結核のすべて 木野智慧光 日本患者同盟
看護技術 メジカルフレンド 1977年6月 褥創 その予防とケア

全身清拭 (B.B) 足 製 (F.B)
部分清拭 (P.B) 洗 浴 (W.H)

患 者 清 拭 表 一 覧

S 55. 6. 3 現在～

要 全 面 介 助 者 (火・日/W)				要 部 分 介 助 者 (火・土/W)			
号室	名前	施行内容	月/日	ケアのプロセス, 気付いたこと			
722	ト	全身清拭 (B.B)	6/29	<ul style="list-style-type: none"> 丘疹様の発赤あり (胸, 頸, 背, 臀部) 掻痒感強く夜間ひっかいてしまったと話し, 下着がひっかき傷で血液がついているので更衣をする。石ケンで施行したので, 香りが良くさっぱりしたと話してくれる。 			
722	ル	B.B	6/29	<ul style="list-style-type: none"> 意識清明, 小児科 Pt が訪室するとにこにこしている。 側臥位を自力でとれる様になる。(右側が多い) 褥創は縮少してきており, 周囲の発赤は変化なし。(3×3cm) 浸出液少量, 出血なし。ドライヤー乾燥後イソジン消毒, ソフラチュール。 			
724	ラ	B.B	6/29	<ul style="list-style-type: none"> 最近太ったと話す。胸背部のはり痛あるも現在がまんしている様子。 陰部が悪臭あり, 帯下も多量認む。 やはり体交時, スムーズに身体の向きを変えられず。 			
731	ケ	P.B	6/1	<ul style="list-style-type: none"> 疲労強いため, 頸, 肩, 胸, 背, 臀部のみとする。 喘鳴あり, O₂ 持続中, 吸引しても何もひけず。 臀, 下肢, 上肢 (肘) スポンジ固定部位に内出血認む。 両上下眼瞼皮下出血持続す。創からの出血はなし。 IVD 中が苦しいのでバンヤ枕固定する。 吸いのみをもたなくても良い様に延長チューブをコップにつける。 			
733	コ	B.B	7/3	<ul style="list-style-type: none"> 付添と一緒に施行する。 足背浮腫 (L>R) 持続しているが脈拍触知良好。 喘鳴なくも時々咳こむ。左側臥のみ体交す。 右背部, 仙骨部, 褥創ドライヤー乾燥後イソジン塗布す。新しいものはない。 左下腿浸出液なく縮少傾向。 			
734	エ	B.B (ひげそり本人で)	6/1	<ul style="list-style-type: none"> ひげそりをしましょうかとすゝめると, "何とか自分でやってみたい。と訴え, 鏡を見ながら自力で休み休みそっている。 体交は疲労が残るらしいが, 清拭後はさっぱりしていると。 IVD 中はほとんど眠ってしまうので, ケアが午後には片よってしまう。 頸部創よりの吸引, 血 時々あり, 不安気にチューブを目で追う。 			
721	ロ	F.B	6/28	<ul style="list-style-type: none"> 下肢のしびれ, 特に足趾のしびれ感, マッサージで感覚がもどる様子と話す。 朝一番にマッサージや, 湯に足をつけたりすることをすすめてみる。 			
722	ヘ						
722	ヌ						
723	タ	P.B 背部	6/14	<ul style="list-style-type: none"> 動きが緩慢な様子で倦怠感とれないと話す。食欲なく顔色不良, 疲労感はないと話す。RFP で胃の調子悪いのではと話すため Dric 報告することの約束をする。 			
724	レ						
	ネ						
726	ヲ						
	マ						